



学校教育目標	心豊かで たくましく 心身ともに健やかな 鳴鼓っ子の育成
令和7年度のテーマ	～一人一人のウェルビーイング（幸せ）～ 「楽しい学校」

## 校長先生の頑張る姿を子どもたちに見せて下さい



11月27日に本校体育館で「スクールコンサート」を開催しました。

演目はオペラ「ヘンゼルとグレーテル」です。

プロのオペラ歌手の皆さんにお越しいただき、子どもたちの目の前で、大迫力の歌を聴かせていただきました。

普段は、校長として楽しくオペラを聴かせてもらうのですが、今回は事情が大きく違っていました。

実は、スクールコンサートの事務局の方から、校長にもお父さん役で出演して、歌を歌って欲しいというお願いがあつたからでした。

普通なら、そんなプロの歌手の方に混じって私が歌うなんておこがましいとお断りをするところですが、事務局の方がおっしゃられた言葉にドキッとしたしました。

「子どもたちは、いつも頑張っています。是非、今回は校長先生の頑張る姿を子どもたちに見せて欲しい。きっと、子どもたちは喜びますよ。」と。

確かに、私は、子どもたちに対して、自分の持っている力よりも少し高い目標に挑戦することで、人は成長するということを言ってきました。

そこで、普段、私が子どもたちに言っていることを、今度は自分がやるべき時だと考え直し、出演することにしました。もちろん、今回の話は、私にとって決して少し高い目標ではないのですが。

実際に、出演した後の感想は、緊張しすぎて、良かったのか、普通だったのか、悪かったのか、何もわからなかったというのが本音でした。

後で、子どもたちや先生方から良かったですよと言っていただいたことで、私もほっとしたところです。

コンサートには、3年生の子どもたちも、子役として出演し、立派に歌と演技をすることができました。新しいことに挑戦し続ける子どもたちの気持ちが痛いほどよくわかったスクールコンサートでした。

## 本物にふれる

11月16日に、1年生の生活科の時間、県民の森のスタッフの方々に来ていただき、どんぐり教室がありました。同じ日に、6年生では外国語の学習の一環として、長崎外国語大学の学生さんとの交流学習がありました。



【どんぐり教室】



【外国語大生との交流】

今は、子どもたちが一人一台端末をもっているので、簡単に映像を使って勉強することができます。しかし、本物からしか感じることができないことがあるのも事実です。本物にふれることでとても良い勉強ができた時間でした。

## 少年の主張大会



【勝 咲葵 さん】



【田崎 花 さん】



【勝 藍菜 さん】



【小濱 旺知郎 さん】

12月14日に長崎外国語大学のホールで少年の主張大会が開催されました。

本校から大会に参加した子どもたちは以下の4名になります。

1年1組 勝 咲葵 さん  
「よろこぶかおがすき」  
2年2組 田崎 花 さん  
「大好きな学校」  
4年1組 勝 藍菜 さん  
「地球温暖化とわたし」  
5年1組 小濱 旺知郎 さん  
「ドーナツ屋への道」

夏休み明けに書いた少年の主張を教育委員会に提出し、審査を経て選ばれたそれぞれの主張は、どれも魅力的なものでした。また、大会参加が決まってからそれぞれの子どもたちが、発表練習を頑張る姿から、普段の生活では得られない大きな成長を感じました。

4名の皆さん、お疲れさまでした。それぞれの主張がとてもよく伝わってくる大会でしたよ。

### なづみ学童クラブ移転

7月の学校便りでお知らせした「なづみ学童クラブ」の移転ですが、本校運動場体育倉庫横に完成し、12月から子どもたちが通っています。移転に伴い、特に夕方、お迎えの車が、本校駐車場まで上がってくることになりました。

学校でも子どもたちに周りをよく見て交通事故には十分に気を付けるよう指導をしますが、是非、ご家庭でも話題にしていただければと思います。よろしくお願ひします。

### 冬休みの過ごし方

「クリスマス」「お正月」と、子どもたちが楽しみにしている行事が続く冬休みが近づいてきました。学校でも十分に指導した上で、冬休みを迎えるようにしますが、有意義な冬休みとなるように、また、3学期の学校生活がスムーズに始められるように保護者の皆様、地域の皆様に以下の2点をお願いさせて下さい。

- ① 家族の一員としての自覚を深め、自分の役割を積極的に果たすようにする。
- ② 子どもの基本的な生活習慣や行動が乱れないように見守る。

先日、安心メールで情報を提供しました。本校児童とは限りませんが、砂置き場に小学生が入り込んで遊んでいた。その時、クレーン車による作業が行われており非常に危険だった。という事案です。

改めて、子どもたちの安全については、ご家庭でも話題にしていただければと思います。

令和7年も、保護者の皆様、地域の皆様の知恵や力をたくさん貸していただきながら、子どもを育てることができました。本当にありがとうございます。

どうぞ良い年をお迎えください。